

名古屋アイスロータリークラブ

RID2760 THE ROTARY CLUB OB NAGOYA IRIS

～ 世界へのプレゼントになろう Be a gift to the world ～
2015-16 年度国際ロータリー会長 K.R. “ラビ” ラビンドラン

例会日:毎週水曜日 13:00～14:00

例会場:ANA クラウンプラザ グランコートホテル名古屋

創立:2013年6月5日

会長:安井 忠 「楽しく・深く理解するアイリス」



- 斉唱 それでこそロータリー
- 司会 深見 和久 会員
- 出席者報告 出席者数 32 名 / 会員数 37 名
出席率 86.48%
前々回(第 115 回)修正出席率は 86.48%(32/37)

■ ビジター・ゲスト

名古屋北 RC 浦野 三男 特別代表

■ ニコボックス報告

名古屋北 RC 浦野 三男 特別代表

本年度 上半期の最終例会に出席して師走でご多忙の中病気にならないように皆様のご健勝をお祈りいたします。

荒山 久美直前会長

櫻井さん、カレンダーを頂きありがとうございます。来週の家族例会には 9 4 歳の母も連れてきますので宜しくお願いします。

藤森 淳 会員

先週金曜日、義母が PS 純金というテレビ番組に出演しました。泉ピン子さんと仲良くしていましたが実は好きではないと言っていました。

鬼頭 容子 会員

本日、沖さん、長谷川さんと一緒に名大病院 小児科にお話をお伺いしていきました。なんとか財団補助金申請にこぎつきたいです。

青木 恭子 会員

少しスリムになりました。安井さんのご指導に感謝

です。

安井 嗣博 会員

先週、出張ついでに東京でキングクリムゾンというバンドのコンサートに行きました。高校生の頃に見てから 3 1 年ぶりでした。とても素晴らしくもう一度見てみたいのですが、名古屋に来るのは 2 1 日のクリスマス例会と重なっているので断念です。

村田 実樹 会員

宜しくお願いします。

須賀 祐介 会員

来週のクリスマス例会楽しみです。

来るべきクリスマス、おせちづくりの一番の前のつかの間のひと時を満喫させていただきたいと思います。

安井 忠 会長

こんにちは！！

■ 会長挨拶

街にはクリスマスセールや年末商戦がくりひろげられております。

日 1 日とあわただしさを感じる様になりました。皆様昼も夜も大変お忙しいことと存じますのでお体にはくれぐれもお気をつけ下さい。

さて今日は「正夢は本当にあるのか」につきまして一寸とお話したいと思います。

学生の頃恐らく試験の夢をよく見られたと思います。

皆がよく話しますのは試験の前夜にみます夢で試

験場に行って机の上で試験問題を全部解いてしまったとか1問も解けなかった夢を見たと言うたぐいのことであります。

その後試験を受けてみごとに通ってやっぱり夢の通りだったと夢と云うのは予言する力があるのだと信じたくくなります。

「夢のお告げ」と云うことをよく聞きます。夢は本当に予言してくれるのかどうかですがこんな夢があります。

ある人が起きているときは何ともないのですが眠ると喉が痛くて手術をしたと云う夢を見たり魚の骨が喉にひっかかって痛かったと云う夢を幾晩も見ます。

そのうちに昼間も喉が痛くなってきてお医者さんのところへ行くと喉が腫れている。

早速手術をしなければいけないと云うので手術をして病気が治ったと云うことであります。

これも夢が知らないうちにお告げをしてくれたと信じたくくなります。

しかし実際はお告げではなくてもっと科学的なものであります。

病気の初期は喉に何かができても昼間起きているときは気がつかない。と、申しますのは昼間は見たり聞いたりする刺激が非常に強いですからそちらに気をとられてしまって喉に病気ができているよと云う信号が頭に行っても無視されてしまいます。

ところが夜静かになって目からの信号とか耳からの信号がなくなってきましたと喉からの弱い信号がはっきりしてきます。

それが眠っている間に脳を刺激しまして夢を起します。

ですから夢は不思議なものではなくて体に起こる変化を

絶えずキャッチしておりまして眠っているときにそれが夢となって出てくるのであります。

日本では昔から「夢は5臓6腑の疲れ」だと云いますが内臓に故障がありますとそれが刺激になっ

て夢となって出てくるのでありまして科学的な根拠があるわけであります。

ところで年末ジャンボ宝くじを買われたでしょうか。

今夜辺り大当りの夢をみられましてそれが正夢であります様お祈り致します。

その折には当クラブ1年分位のニコBOXをぜひお願い致します。

■ロータリー財団委員会報告

荒山 久美 直前会長

去る11月14日(土)と12月12日(土)に第2回、3回のVTT委員会がガバナー事務所にて開催されましたので、会員の皆様に報告致します。

今年度のVTTプロジェクトの研修テーマは、財団の重点6分野の中の「疾病予防と治療」です。今回はインドネシア第3410地区内のジャカルタ郊外にありますマヤパダ病院に職業研修というか医療研修チームを名古屋側から派遣し、現地の医療従事者に院内感染の防止、感染制御についての技術指導を実施致します。名市大、大同病院、第二日赤などから医師、看護師、薬剤師7名を4月末から約2週間派遣します。また、6月には現地から5名の医療従事者を名古屋に招き、こちらの病院内での実地研修をして理解を深めていただく予定であります。

財団のグローバル補助金を利用して行われるこの活動の予算は約5万ドルです。これからの委員会の活動は、こちら側が出発する時の結団式、壮行会の実施、相手国側の来日時のお世話などがあります。実際の活動が年度末にはなりますが、動きがあったらまた例会報告をさせていただきます。

■委員会報告

上半期の最終例会の為、各委員会毎テーブルに分かれ活動内容の報告を行いました。



以上